

理研会報

発行
印教研理科研究部
事務局
成田市立成田小学校
成田市幸町948-1

平成十年度

理科作口即展

報出口特佳木

科学工夫作品の部

山王小 深山 民夫先生

科学工夫作品の部には、小学校八十三点、中学校十四点が出品されました。今年の作品を見ると、完成度の高い作品が多く集まったと思います。例えば、高花小・吉川君の「ペットボトルつぶし機」のようにペットボトルをつぶす機能が十分である上に、足で踏みつける部分を怪獣の足の形にしている点などは、子どもらしい発想であり、審査員を惹きつけました。

小学校の作品は、その多くが理科・生活科での学習の延長上にある「動くおもちゃ」が多かったです。そんな中で学習成果を表現する方法として工夫工作といった形でまとめあげたものが見られました。四年生の「電池を使った実験装置」、五年生の「大宇宙」、六年生の「持ち運び式プラネタリウム」などがそれです。また、県展への出品は見送られたものの三年生の「くつみがき」は、学習の中

からというよりは、生活の中からのアイデアが作品になったものです。中学校の作品は、前述のように出品点数が多くありませんでした。しかし、作品にこれこんでいるという印象を受けました。科学大好き人間が確実に育っているという感じがしました。

着想が新しいか、創意工夫が盛り込まれているか等の点から審査が行われています。審査の段階でうまく動作するように事前の確認をし、しっかり行っておくように留意していただければと思います。

科学論文の部

久住第二小 飯田 和宏先生

平成十年度の印刷部理科作品展科学論文作品の部の審査をさせていただきました。一人として、本年度の科学論文作品の様子、傾向について報告させていただきます。

出品総数は、小学校百二点、中学校四十三点、合計百四十五点の科学論文作品が出品されました。

どの作品も部会作品展から推薦された作品であるだけに、子どもたちの発達段階に応じた素朴な疑問を子どもたちなりの豊かな発想で解決しようとする様子がどの論文からも感じられ、子どもたちの努力のあとを感じました。

また、ここ数年は、論文としてまとめ方もしつかりしてきているようにも感じました。二、三年の継続観察も増えてきていることにも感心させられました。

最後に、今後さらに充実した作品を期待し、次のような点を付記させていただきます。科学論文の部の報告とさせていただきます。

まとめ方は論文の形態をとりしつかりとしてきていますが、研究テーマが漠然としているため内容が豊富になり過ぎ、焦点が絞りがきかない作品がみられました。研究

テーマをもう少し工夫（問題点のはっきりしたテーマ、読んでみたくなるようなテーマのネーミング等）してみると、問題が具体化し焦点化されてくるように思います。◎誰が見てもわかる研究論文、再現性・客観性のある実験観察、結果から考察に無理のない論文という心をかけたものです。併せて、自分なりの手で図や文章を書くことも大切にしたいものです。◎先生方の適切な支援が、子どもたちの発想を生かした素晴らしい成果へとつながっていくものと思います。よろしく願います。

標本の部

印西中 松田 治久先生

昨年に続き標本を担当しました。毎年力作が集まるので楽しみです。審査会場で、標本に詳しい先生

です。審査会場で植物標本の扉を開くと、植物の香りが漂い、作品一つ一つに詰まった夏の思い出が伝わってくるような気がします。今年は、フタの頭蓋骨標本がありました。中学生女子三人組の作品で、白くきれいに仕上げ、作業途中の写真も添えられていました。小学生の作品は、昆虫標本や植物採集が主流ですが数が多く、厚い冊子を何冊も作ったり、標本箱を何箱も完成させているものもあり努力が感じられます。

中学生の作品では、ハチをテーマにし、自宅のある地域に棲む何十種類ものハチの仲間を標本にしたものや、通学する中学校の校地の内の植物分類を調べ、それらの植物標本と分布図を作品にしたものがありました。

にお聞きしたのですが、標本を作るときには次のようなことに注意するとよいそうです。

- ・植物標本では根を切らずに標本にし、葉は裏表がわかるようにひろげる。
- ・昆虫標本では、トンボのしっぽには芯を入れ、まっすぐになるように整える。蝶のはねは左右が水平になるように展翅する。

基本的な技法だと思えますが、学校での学習活動では触れられることのない分野かもしれません。自主課題として、図書館で調べたり興味や知識の範囲を広げていくところに、夏休みの自由研究としての価値があるのだと思います。



部理科作品展審査結果について

学年	氏名	作品名	学校名	備考
小1	吉岡 祥平	ナイスキャッチ	東小	
1	藤田 祐馬	くらげの親子（お母さん大好き）	白井第二小	
2	藤谷 光佑	ドラエモンとあそぼう	西和一小	
2	中井 隆彦	ヘリコプター	新山小	
2	杉山 寛典	ワンダー・ゆうえんち	高花小	
3	野島 幸平	坂を上るワザダ	有明小	
3	伊藤 海平	ぼくのしゃべり人形	小森小	
3	花城 邦典	ポケモンサッカー スタジアム	中央小	
3	佐久間 春月	くつみがき	瑞穂寺小	
4	今村 友樹	ゆかいな力 ニバル	下代田小	
4	真野 悠樹	電池を使った実験装置	開野台小	
4	古川 豊一	ペットボトルつぶし機	高花小	
4	森田 直樹	光る魚	清水口小	
4	岡村 夕樹	火山	瑞穂小	
5	小野 将幸	大宇宙	下志摩小	
5	木松 敬志	リニアモーターカー	大門口小	
5	伊藤 輝子	電子占い	早賀小	
5	牧野 哲久	つり名人	永南小	
6	中村 雅也	シャボン玉作成機	吉岡小	
6	小林 雅子	持ち運び式プラネタリウム	四和一小	
6	平野 太郎	電池石による人形つなぎ	二栄小	
6	大久保 雅樹	地震お知らせ機	四街道小	
6	遠見 佑樹	ペットボトルつり下げ機	木川中	
中1	大久保 雅樹	Piersonの装置	七次台中	
2	宇佐美 健	水位調節装置 エコログ・バージョン	玉造中	
3	藤崎 修希	風の翼等装置	船中	
3	岡崎 秀	ブルタブ取り	船中	
小1	藤田 京子	めはちからもち	電住小	
1	藤田 京子	おかしなごむの研究	北近田小	
2	佐々木 貴美	はじめてのビーム作り	佐倉小	
2	小川 貴子	こまのけんきゅう	八街小	
2	古川 舞	テントウムシのかんさつ	八街小	
2	小川 舞	さびのき方のちがひ	神宮小	
4	4年3組	アサガオによる光化学スモッグの観察	根本小	
4	志村 晴太	シャボン玉のふしぎ	成田小	
4	小川 貴子	水の研究	八街小	
5	大崎 智久	乾電池はどれだけの電	山王小	
6	小川 貴子	日本たんばつ救出大作戦	早成小	
6	大木 奈緒美	アサガオの観察Ⅳ	瑞穂小	
6	大木 文香	鹿島川の水質	佐倉小	
6	佐藤 み	四街道市を流れる川と印刷用紙の水質調査	山王小	
中1	渡邊 誠哉	電気でパン作り	栄中	
2	後藤 恭平	印刷用紙の水質	栄中	
2	近藤 奈奈	電気でパン作り	船中	
2	山崎 智子	二酸化窒素（NO ₂ ）について	井野中	
2	山崎 智子	カビと神よくなるために	栄中	
2	山崎 智子	緑 風船の膨らみ	船中	
3	山崎 智子	印西市の天気に関する法則性	原山中	
3	山崎 智子	植物による大気汚染調査	栄中	
小1	大久保 貴史	くさばな	寒住小	
1	大井 祐介	セミとめがけの標本	船小	
2	小泉 真友	石垣島とおんじょくの間であつた海草	和良比小	
2	遠藤 裕典	植物さいし	みそら小	
4	熊見 敦子	海そうのふりひょう本	瑞穂小	
4	遠藤 良子	本郷村の昆虫	瑞穂小	
5	芳賀 夢子	昆虫の標本	二州小	
5	小山 智紀	成田市の化石	四街道小	
6	押田 智子	草葉集	船中	
中1	中川 康子	校庭の草花	井野中	
2	堀田 明子	身近な植物の標本	井野中	
2	中川 康子	山上地区のハチ	船中	
2	中川 康子	ハチの標本	船中	
2	中川 康子	ハチの標本	船中	

※標本は、及び審査員に「部」とある作品につきましては掲載に出品いたしませんでした